

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月29日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住 所 千葉県鴨川市江見青木86番地の1

氏 名 青木総業株式会社

代表取締役 小篠 隆

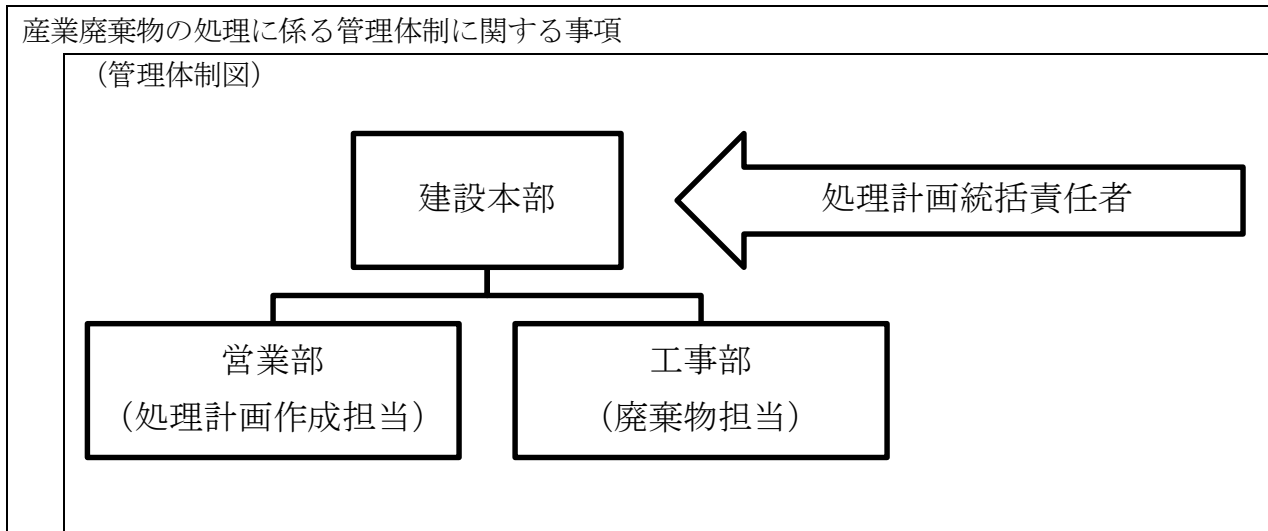
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 04-7096-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	青木総業株式会社
事業場の所在地	千葉県鴨川市江見青木86番地の1
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
②事業の規模	前年度の元請完成工事高 12億円
③従業員数	27人(正社員25人、非常勤2人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		別紙2のとおり	
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	排 出 量	—	—	—
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		別紙2のとおり	
	産業廃棄物の種類	—	—	—
	排 出 量	—	—	—
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none">がれき類（コンクリート塊、アスファルト塊）分別する。石綿含有産業廃棄物については、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none">引き続き、上記のとおり分別、保管を実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		別紙3のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙3のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		別紙4のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		別紙4のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		別紙5のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		別紙5のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（年度）実績】		別紙6-1のとおり
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組)		

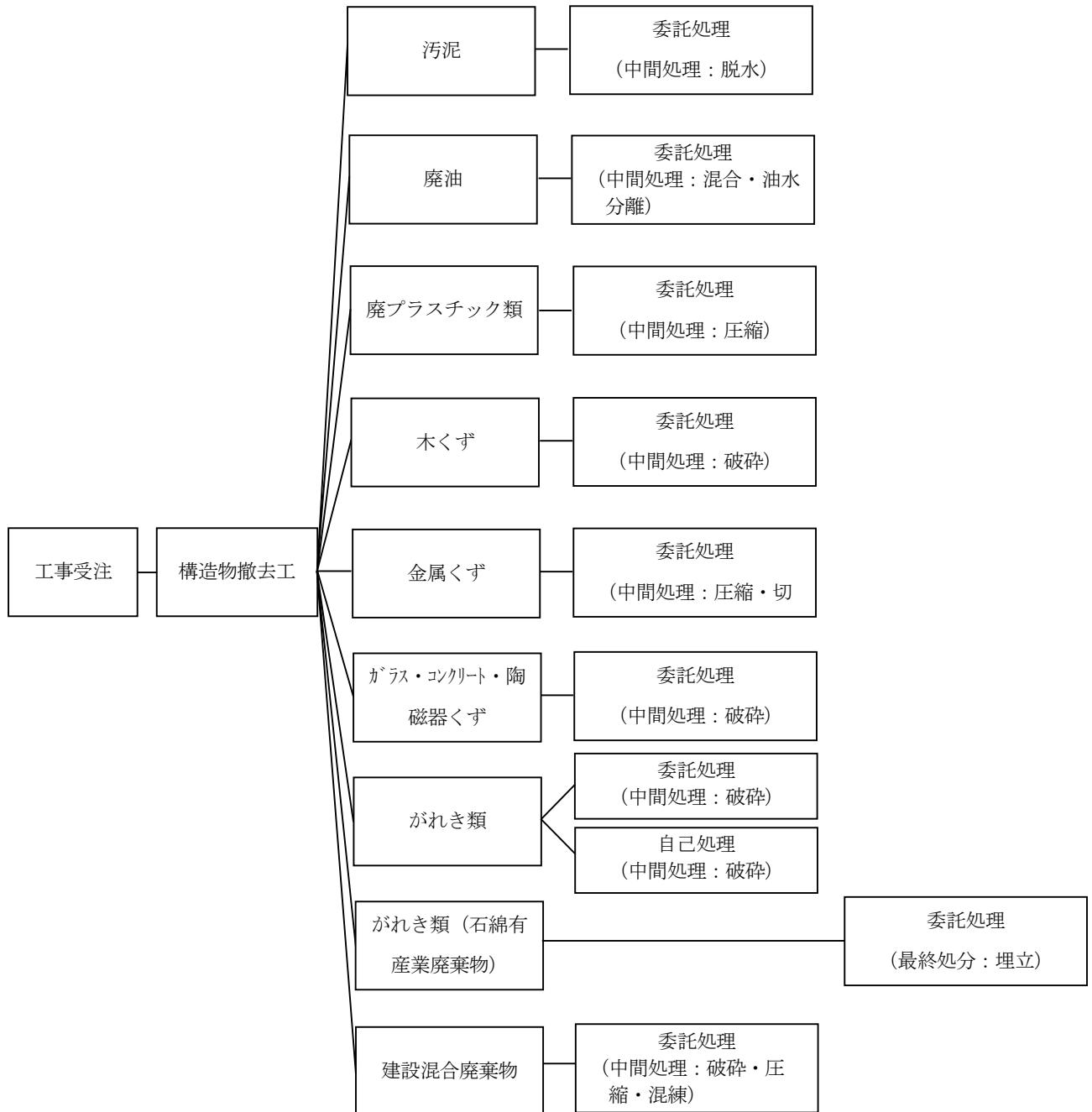
②計画	【目標】	別紙6-2のとおり	
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	—	—
	再生利用業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙様式1)



(別紙様式2)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）	
	排出量	0.7 t	23.8 t	225.5 t	26.3 t	5440.4 t	100.6 t	163.7 t	7.2 t	
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 工法の改善。 ・ 実寸発注の実施。 ・ 余剰材の引き取り。 									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	金属くず	がれき類（石綿含有産業廃棄物）	
	排出量	1 t	0 t	20 t	0 t	1500 t	5 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 梱包材の簡素化。 ・ ユニット化持込み。 									

(別紙様式3)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) ・ 型枠については、出来るだけそのまま再利用をしている。 ・ がれき類について現場内で移動式破砕機にて破砕を行い、砕石とし再利用。									
② 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 自ら利用を実施する (がれき類)。									

(別紙様式4)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（ 4年度 ）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
① 現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(これまでに実施した取組) ・ 工法に応じて脱水できるものは脱水している。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
②計画	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組) ・ 選別施設を設置し、再生利用を検討する。										

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 4年度 ）実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
① 現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0	0 t	
(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。										
【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物		
② 計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組) ・ 実施予定なし。										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4年度 ）実績】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）	がれき類	建設混合廃棄物	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（石綿含有）
	全処理委託量	0.7 t	0 t	23.8 t	225.5 t	163.7 t	26.3 t	5440.4 t	100.6 t	7.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0.7 t	0 t	23.8 t	225.5 t	163.7 t	26.3 t	5440.4 t	100.6 t	7.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> 委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)
	全処理委託量	1 t	0 t	0 t	20 t	0 t	0	1,500 t	5 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1 t	0 t	0 t	20 t	0 t	0 t	1,500 t	5 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 引き続き委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施する。									